



●国道8号 立ち往生車両の移動訓練を実施しました！

12月18日（金）、国道8号津幡北バイパスの津幡除雪基地（津幡町庄地先）にて、職員ら44人が大雪に備え、立ち往生車両の移動訓練を実施しました。

当事務所では、大雪時による立ち往生車両を速やかに排除し、交通障害に迅速に対応できるよう、災害対策基本法に基づき車両移動訓練を実施しています。平成26年11月に災害対策基本法の一部が改正され、大規模な災害発生時に緊急車両の通行を確保するため道路に放置された車両を道路管理者が強制的に移動できることになりました。

参加者は、大型トラックを除雪車でけん引する方法や車両移動装置（タイヤ付きジャッキ）を用いた車両移動などの移動訓練を行いました。また、JAFによるレッカー車を用いた車両移動のデモンストレーションやハイブリット車の構造と注意箇所の説明がありました。これまでのガソリン車と異なり、ハイブリッド車は高電圧のバッテリーを搭載しているため注意が必要となります。



除雪車による
大型トラックの牽引



タイヤ付きジャッキを
用いた車両移動



JAFによる車両移動



ハイブリッド車の構造説明

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p1217_1.pdf

●今年初、凍結防止材散布車が出動しました！

12月17日（木）夕方から夜間にかけて、管内の国道において、降雪や気温低下による路面凍結の恐れがあったため、今冬初めて凍結防止材散布車が出動しました。昨年より15日遅く、一昨年よりは35日遅い出動となります。

各路線の出動状況は以下の通りです。

- ・国道8号 津幡町九折～金沢市今町、小松市八幡～加賀市熊坂
- ・国道157号 白山市鶴来水戸町～同市白山町
- ・国道159号 七尾市川原町～津幡町舟橋、金沢市今町～同市鈴見台（金沢東部環状道路）
- ・国道160号 七尾市川原町～同市大泊町
- ・国道470号 能越自動車道 能登空港IC～穴水IC、七尾IC～富山県境

【道路状況QRコード】

冬のお出かけ時には、
道路状況の確認を！

石川の雪みちナビ

みちナビ石川
（道のライブカメラ）



凍結防止剤散布車の出動状況
（国道159号 宝達志水町免田）



凍結防止剤散布車の出動状況
（国道8号 津幡町坂戸）

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p1218_1.pdf



●平成27年度第3回石川県道路メンテナンス会議を開催しました！

12月25日(金)、金沢河川国道事務所にて、「平成27年度第3回石川県道路メンテナンス会議」を開催しました。

本会議は、石川県内の道路施設の点検や補修・更新等を効果的・効率的に行うため、各道路管理者が連携し、老朽化対策の強化を図ることを目的に平成26年6月に設立されました。本会議には石川県、19市町、中日本高速道路、金沢河川国道事務所が参加しています。

議事では、平成26、27年度の石川県内の道路構造物(橋・トンネル等)点検の結果、緊急的に措置を講ずるべき道路構造物がないことが報告されました。また、県による各市町支援では以下の事項が報告されました。

- ①点検業務の受託範囲を「県管理道路を跨ぐ橋」から「跨道橋(高速道路は除く)」に対象を拡大
- ②技術支援では従来の「市町負担有り」から「市町負担無し」とし、市町が発注する点検業務の診断時に技術者の派遣(技術センターなど)を行うことで市町への負担軽減を図ります。
- ③相談窓口の設置(県道路建設課)
- ④石川県版点検要領や点検歩掛りを提供

現在、各市町が行っている点検業務が概ね完了する年度末をめどに「健全性の診断」に対する技術的支援を実施する予定です。

また、国土交通省道路局が11月にまとめた道路メンテナンス年報の内容を紹介したほか、地方公共団体において「インフラ長寿命化計画(行動計画)」策定が対象となる防災・安全交付金(社会資本整備総合交付金交付要綱)などを示しました。



【新御影橋】
自治体職員を対象にした
橋梁点検研修
平成27年10月1日



【会議状況】

道路メンテナンス会議HP

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/roukyuukataisaku/menntekaigi_ishikawa.htm

関連URL：記者発表資料

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p1222_1.pdf

●年末年始の石川県内における一般国道の交通状況を報告します！

年末年始の県内における一般国道の交通状況(速報)を昨年12月26日(土)から年明けの1月3日(日)までの9日間調査し、県全体(主要8地点)の合計交通量は、昨年同時期比で約17%(+18,800台/日)増の131,030台となりました。地区別の一般国道の交通状況は右図の通りです。最も増加したのは、平成27年2月に開通した能越自動車道七尾氷見道路でした。七尾市麻生町の調査地点は前年比約84%増を記録し、一日平均2,120台増えました。このほか、富山県境の一般国道8号倶利伽羅バイパス(津幡町刈安)が約31%増で、一日平均で4,000台近く増え、金沢市内の2箇所の調査地点でも、それぞれ一日につき約3,200~4,500台増えました。

交通量の拡大について、比較的好天に恵まれたことや昨年3月に開業した北陸新幹線が要因として挙げられます。「石川ブーム」とも呼ばれ、前例のない規模の観光客が押し寄せています。前年比で昨春の大型連休は4%、昨夏のお盆は8%の増加を確認し、年末年始はさらに増えたと分析しています。



関連URL：記者発表資料

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0104_1.pdf

★お問い合わせ先★

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長 杉 浩行

電話 076-264-8800 (代表) F A X 076-233-9631

金沢河川国道事務所ホームページ

URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

金沢河川国道事務所モバイルサイト(携帯サイト)

URL：<http://roadinfo.kanazawa-mlit.com/k/>